

# 令和5年度 学校運営協議会 議事録

下野市立南河内小中学校

日時 2月1日(木) 9:30~

参加者 学校運営協議会委員

松本 文男 様 坪山 仁 様 影山 政夫 様 稲見 俊幸 様  
川田 玲子 様 横島 絹子 様 海老原 忠 校長 岡本 直美 教頭  
稲見 雄太 教頭 芋川 晴恵 教諭 上野 達也 教諭  
黒崎 智照 地域連携教員 阿部 正明 地域連携教員  
地域学校協働活動推進員 上野 保久 様  
欠席者 原 安礼 様

## 開会

### 1 会長あいさつ

### 2 報告事項

(1) 今年度の取組の概要について(校長)「パワーポイント資料により説明」

昨年度は試行錯誤の年でしたが、今年度は改善、改革の年になりました。教職員も小中一貫校という意識をもって様々な活動に取り組むことができました。

(2) 今年度の地域連携事業の状況について(阿部・黒崎)

前期課程では、昨年度実施した活動を引き続き行いました。昨年度、コロナ禍で取り組めなかった活動にも今年度は取り組むことができました。新しい体験活動も取り入れ、関係諸機関ともよく連携しながら行うことができました。新しい活動を取り入れる際は、学年の行事との兼ね合いを考えました。

後期課程では、学校行事や総合的な学習の時間と絡めて行っている活動が多いです。

### 3 協議事項

(1) 学校評価結果の説明(教頭)「学校評価アンケート集計結果・アンケートから考察より説明」

(2) 学校評価結果に関する意見交換

(委員) 地域との連携については、日々のカリキュラム等もあるので難しいところもあると思いますが、地域人材を積極的に活用していただきたいと思います。

(委員) 全国学力・とちぎっ子テストの結果に△がありました。授業に関するアンケート結果は肯定的なものでしたので、引き続き分かりやすい授業をしていただき、テストの結果に指導の成果が表れるようになると、さらによいと思います。

公民館で学習している子どもの姿を見かけます。

(委員) 家庭を巻き込んで読書活動を推進していただきたいです。

(委員) アンケート結果から推測すると、自分から学習することへの意欲は低いのではないかと思います。学校行事には意欲的なようですが、自立への意欲が低いこともアンケートから見えます。

地域から出て行く若者が多くなっていますが、地域活動の魅力を伝えてく必要もあるのではないのでしょうか。小中一貫校の特色を生かした活動を続ける中で、今後の地域を担う人材が出てくることを期待します。

(委員) 回答理由が分かるように、質問事項を付け足すのもよいのではないのでしょうか。

(委員) 勉強は分かりやすい、楽しいという気持ちにさせることが大切だと思います。

(委員) 挨拶について、子供と職員では評価の差が大きいようです。子供は自分ではできていると思っているようですが、地域で見ていると、実際はあまりできていないようです。

(委員) 地域の大人も進んで挨拶を行っていく必要があるのではないのでしょうか。

(委員) 保護者、子供、職員のアンケート結果を一覧にまとめていただければ、比較しやすいです。

#### 4 その他

(1) 令和6年度学校行事計画について(芋川)「R6年度年間行事予定より説明」

(2) パワーアップアクションプランについて(地域学校協働活動推進委員)

学校評価アンケート結果に表れていた、授業が分かりやすく楽しいという気持ちは、学力向上へのよい兆しだと思います。小中学校の現在の状況にあうように「パワーアップアクションプラン」を改善し、家庭や地域の方々の意識を高めて、学校と連携して子供たちを育てていくことが大切だと思います。

(校長) 学校運営協議会の名前で「アクションプラン」を出すことを了承いただきました。

閉会